

# 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	エンゼルおおぞら保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 大川内智行	定員（利用人数）：	80（81）名
所在地：	245-0024 神奈川県横浜市泉区和泉中央北2-2-7		
TEL：	045-443-9002	ホームページ：	<a href="https://oozora.grandir.org">https://oozora.grandir.org</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	特定非営利活動法人 グランディール		
職員数	常勤職員： 24名	非常勤職員：	4名
専門職員	保育士 20名	栄養士	1名
	看護師 1名	調理員	3名
	用務員 0名	保育補助	2名
施設・設備の概要	居室数： 保育室5室、調理室、事務室、子育て支援スペース、職員休憩室(更衣室)、調乳室	設備等：	園庭、エレベーター、テラス

## ③理念・基本方針

### 《保育理念》

幼児期に受けた経験は、数十年の時を超えてもなお鮮明な記憶として蘇ってきます。

『三つ子の魂百まで』と諺にもありますが、幼児期は人間形成の最も大切な時期。この大切な時期にこそ慈しみ育てることはその生涯を豊かなものにします。

特に人生の初期に人から愛されることによって自分も相手を大切にしようとする心の芽生えを逃さず、身近な人と親しみ関わる中で、人に対する優しい思いやりと、人権を大切にすることを育てます。

### 《保育目標》

- ・ぬくもりのある雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を満たし、情緒の安定を図る
- ・生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、健康安全など、心身の健康の基礎を育む
- ・地域交流を通して、社会性や道徳を学び、また、自主強調の態度を養う

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

園の裏側には閑静な住宅街があり、その先には畑や森が広がり、自然豊かな環境の中で保育を行っています。保育は各クラスとも複数担任制にしており、子ども一人ひとりにていねいにかかわり、家庭的な保育をしています。戸外活動を多く取り入れ、散歩の途中で近隣の畑で季節の作物を育てる様子を見たり、複数の公園で体をいっぱい動かして遊んだり、どんぐりを拾ったり、もみじの葉を集めたり、それらを工作に使ったりするなど、子どもたちは自然の中で多くのことを学んでいます。園庭は天然芝と人工芝になっていて、ピクニック気分のままごと遊びをしたり、あり、ばった、ちょうなどのさまざまな虫も自然に集まり、観察を楽しんだりしています。月2回ずつ外部講師による体操教室と英語教室があり、体操教室では運動能力の向上や挑戦する気持ちを育て、英語教室では歌やイベントなどを通して英語に親しむ活動をしています。職員間の対話を大切にしており、園長、主任、副主任をはじめ、職員にも気軽に相談できる雰囲気と体制があり、職員の定着率も高い現状です。園は最寄駅から2分の立地で、保護者にとっては利便性の高い環境です。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年6月7日（契約日）～ 2022年2月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### ◆月間指導計画を要約して保護者に配付し、目ざす保育の理解を図っています

保育所保育指針において、保育は保護者とともに子どもを育てる営みであるとしており、園でも同様に家庭との連携を大切に考え、園の目ざす保育を理解してもらえるようにさまざまな取り組みを行っています。園が毎月作成する月間指導計画は、保護者用にダイジェスト版を作成して配付し、活動のねらい、内容、月の歌や製作、家庭への連絡事項を掲載して家庭でも子どもの遊びや活動の見通しが立てられるようにしています。さらに、コロナ禍で保育実践の見学が中止あるいは制限される中、活動の写真を多用したクラス便りの発行を開始し、子どもたちの記録をDVD化して保護者に渡すよう計画するなど、保護者との連携に向け実行力を発揮しています。

##### ◆複数担任制を敷いて相互に学び合い、保育の質向上につなげています

0～5歳児の各クラスとも2名のクラス担任を配置しています。クラス担任は全体的な計画の立案から参画し、クラス別の指導計画を作成する際には互いに相談して立案して実行・評価をし、さらに園長と主任が評価して見直し、より発達に応じた保育になるよう質の向上を図っています。また、園内の職員会議や日々のミーティングでの話し合いだけでなく、系列園のクラス担任とも交流して意見交換する機会もあり、互いに学び合い、自身のスキルアップにもつなげています。複数担任制を敷くことで休憩時間を確保できるなど余裕も生まれ、子ども一人ひとりにていねいにかかわり家庭的な保育を実現し、子どもの育ちにも良い影響を与えています。

◇改善を求められる点

##### ◆中・長期計画との関連性を高め、体系的な事業計画となるよう期待します

園の中・長期計画は、3つの通年の目標のもと、2020年度～2024年度の5か年計画となっています。中・長期計画は、園の運営を子どもや保護者、保育者、地域、行政、経営の6つの領域に分けて、各領域内の目標を明示しています。また、単年度の事業計画は年間行事予定表の内容をより詳しく述べて、これに地域活動や設備計画、英語や体操教室、園内行事などの個別計画を別記しています。事業計画は中・長期計画を踏まえた内容にはなっていますが、なお、保護者との関係や保育者（職員）の就労や研修などの計画もあると良いでしょう。また、期中や期末の実施状況の評価ができるよう、目標に数値や具体的な成果を設定するよう期待します。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

令和4年に開所10年目を迎えるエンゼルおおぞら保育園ですが、約4年前の第三者評価受審時ではまだまだ保育所として未成熟な部分も多く第三者評価で沢山ご指摘やアドバイスを頂きました。そのご指摘やアドバイスを基に、在籍している子ども達はもちろん、地域の子も達や保護者の皆様にとってより良い保育園になるように、我々で出来る事、出来ない事、出来ないのであればなにか違う方法で改善できないか等、全ての項目について全職員で考える事が出来ました。

前回の第三者評価受審を経て、保育園として何か問題や解決しなければならない事について、全職員で検討していくという習慣を作る事が出来ましたので、新型コロナウイルスの蔓延をはじめとする、子ども達の日々の生活に変化を強いられる度に、全職員で解決していく事が出来ました。この度2度目の第三者評価の受審にあたり、自己評価表を記入したり、評価に必要な書類を揃えていく過程で、あらためてエンゼルおおぞら保育園の保育を見返しましたが、やはりまだまだ足りていない部分が沢山あることに気付かされました。受審日当日にも我々だけでは気付けない部分を分かりやすくご指導、アドバイスを頂き、保育園で生活する子ども達にとってより良い環境となるよう職員全員で進んでいけると思います。

社会生活における保育情勢は日々変化をしております。数年後に3回目の第三者評価を受審する時にはまた新しい常識が生まれているかもしれません。常に新しい情報に耳を傾け、エンゼルおおぞら保育園で生活する子ども達の健全な成長の為にこの度の受審結果を活かしていきたいと思っております。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり